

中国語教育学会会報

第14号(通巻39号) 2005年4月13日発行

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学中国語研究室内

中国語教育学会

郵便振替口座 00110-1-191152

「第3回全国大会」開催

本会の第3回大会が、2005年3月26日(土)、東京外国語大学(東京都府中市)にて開催された。

ほぼ定刻の午前10時に、東京外国語大学外国語学部樋口靖教授の開会の辞で大会は始まった。同大学外国語学部長馬場彰教授(英語学)が、英語教育の実情も織り交ぜながら、日本における中国語教育と当学会発展を希望する旨の祝辞を述べられた。続いて依藤醇会長が、規模の面でも活動の面でも学会を一層発展させたいという抱負を述べた。

引き続き、当学会の顧問(前会長)・学術基準プロジェクト委員会委員長である輿水優東京外国語大学名誉教授による「初級語法再考」と題した講演が行われた。同氏は講演の中で、今後のプロジェクト委員会の活動の予定に触れるとともに、日本の中国語文法教育のあり方について述べられた。

午前11時から昼食を挟んで午後3時半過ぎまで、「発音・語彙」「文法」の二つの分科会に分かれての研究報告会が持たれ、活発な議論が展開された。発表者は11名にのぼり、今回初めて分科会を設ける盛況であった。午後4時から会員総会(後述)が、午後5時から懇親会が持たれた。

学年末の忙しい時期ではあったが、約100名の会員が参加した。参加者の数が回を追うごとに少しずつ増えているのは会の発展のためにも喜ばしいことである。各発表者、司会者、役員各位はじめ大会の運営に尽力されたすべての方々に御礼申し上げます。

「会員総会」報告

昼の休憩時間を利用して、第2回理事会を開催し、その結果を受けて4時より会員総会が開催された。総会は大川完三郎、佐藤富士雄両理事を議長に選出し、両氏の司会の元で進められた。以下、議題ごとに簡単に報告する。

・会長による会務報告

(1) 会員数現況：3月26日現在の会員数は311名。

(2) 会誌「中国語教育」(第3号)：参加者には当日、お届けすることができた。印刷所が急遽変更になったことと、技術的、予算的な問題などから今回は抜刷の作成ができなかった。執筆者の方にはご迷惑をおかけすることになった。会長として改めておわび申し上げます。抜刷の代わりに今回は執筆者の方に会誌5冊を進呈することになったことを報告。可能であれば、次号から「ISSN」の表示を行うよう努力することも併せて報告。

なお、第4号以降の抜刷作成については、技術面・予算面(その費用を執筆者個人が負担することも含め)などの問題もあり、事務局が理事とも相談しながら検討していくことが了承された。

・会計報告

3ページの「決算報告」と「2005年度予算案」が了承された。

・会員拡大について

会員拡大と会員の便宜をはかり、ホームページを開設することとそのために必要とする予算を計上することが了承された。セキュリティーの問題もあり、当面は例会の予定や会則等を載せるに止めることになった。

・名簿作成について

プライバシーの問題もあり、当面名簿の作成は見合わせることにした。

・名誉会員について

長年中国語教育に尽力された先生方が、定年を機に当学会を退会されるのは遺憾なことである。そのためにも名誉会員の制度を設ける方向で検討することが了承された。顧問の問題とともに秋の理事会にはかり、次期大会で決定する予定である。

・第4回大会について

第4回大会は大東文化大学で2006年3月の最終土曜日（予定）に開催されることが決定された。

なお、大会の開催時期については、3月末を避けて欲しいとの要望があるが、規約の会計年度や役員交代などの問題もあり、今後1年をかけて検討したい。

・次期役員（2006～2007年度）選挙について

前回選挙を踏襲し、次期大会以前に郵便投票によって行う。

御礼

関西大学の鳥井克之先生より、学会と大会当日の懇親会に対し、1万円ずつ計2万円のご寄付をいただきました。会を代表して厚く御礼申し上げます。（会長）

今年度の例会について

関東地区での月例会は、昨年度は6月、7月、11月、12月の4回（別に夏期セミナーも行われた）であった。8月、9月は夏休みのところが多く、10月は他の学会の全国大会も多い季節であり、1、2月は入試シーズンでもあり開催しなかった。今年は5月にも開催の予定である（具体的日程等が決定次第ハガキでお知らせの予定）。今後、発表希望者があれば事務局宛お知らせください。なお、他の地区についても条件が整えば、年に1、2回でも例会が開催していただけることを本部としても希望しており、発表希望者があればお近くの理事もしくは事務局宛お知らせください。

（今後の例会予定。日付以外は変更の可能性があり。詳細は改めてハガキにてご連絡。）

5月例会：5月14日（土）会 場：東京外国語大学

発表予定者：滝沢恭子氏、芦澤浩子氏

6月例会：6月11日（土）会 場：文教大学

発表予定者：山田忠司氏、植村麻紀子氏

2004 年度決算報告(04-03-16~05-03-23)

	〈予算〉	〈決算〉
収入		
会費収入	1,200,000	1,585,000
会誌売上	40,000	43,540
繰越金	1,745,983	1,745,983
合計	2,985,983	3,374,523
支出		
幹事手当・報酬	130,000	183,000
学会誌第2号 印刷費	370,000	327,810
学会誌第3号 印刷費		198,093
諸会議費	250,000	79,426
郵便費	320,000	267,060
事務用品費	20,000	78,857
交通費	100,000	96,160
第2回全国大会費補助	100,000	100,000
第3回全国大会費補助		100,000
学力基準プロジェクト委員会事業費	100,000	100,000
次年度繰越金		1,844,117
合計	1,390,000	3,374,523

証票と照合した結果、上記の通り、誤りはありません。

2005 年 3 月 24 日

会計監査 植村麻紀子 ㊟
竹中佐英子 ㊟

2005 年度予算案

収入	
会費収入	1,200,000
繰越金	1,844,117
会誌売上	40,000
合計	3,084,117

支出	
幹事手当・報酬	200,000
学会誌第4号印刷費	300,000
ホームページ作成・維持費	50,000
諸会議費	100,000
郵便費	320,000
事務費	100,000
交通費	100,000
第4回大会費	100,000
予備費	1,814,117
合計	3,084,117

「中国語教育」第4号について

会誌「中国語教育」第4号の原稿募集については、次回の「中国語教育学会報」（7月に発行予定）でお知らせする予定です。これまでの経験と反省の上に立って、執筆要項などについても必要最小限の見直しを行いたいと思います。抜刷の扱いの問題もその時までにはっきりさせたいと考えております。

新規会員氏名

2004年度

赤坂 君子	今井 俊彦	小沢 千代子	金川 幾久世	唐木 陽子	史 彤春
渋谷 周二	宅間 徹志	趙 静穎	西 暢子	文 鐘蓮	宝玉 芳恵
星 健一	堀川 玉容	本間 由香利	杜 瑶林	柳 雅章	山口 和子
山崎 順平	楊 光俊	藺 梅	林 佩芬	劉 虹	盧 万才

好文出版（尾方敏裕）（敬称略）

2005年度

阿辻哲次 工藤亜希子 林 祁 （敬称略）

退会者氏名

奥田 寛 鳥井 克之 牧田 英二 渡辺 茂彦 （敬称略）

他に会費未納（会則第5条）による除籍者 10名

会費納入のお願い

今回、会報とともに郵便振替用紙を同封しております。今年度の会費をお振込みくださるようお願いいたします。年額は5,000円ですが、滞納のある方はその分も合わせてお振込みくださるようお願いいたします。今回から払込手数料不要（手数料は事務局で負担）の振替用紙を使用いたします。